

石神井川上流地下調節池工事に伴う準備工事 工事説明会

〔議事要旨〕

1. 開催概要

日時：①令和6年2月22日（木）19時00分～20時30分
②令和6年2月23日（金・祝）10時00分～11時30分

場所：武蔵野市立千川小学校 ふれあいホール

2. 説明内容 ※ホームページに掲載した「当日配布資料」を基に説明

- 1) 事業概要
- 2) 準備工事内容

3. 主なご質問・ご意見と都の回答（要旨）

（工事の安全について）

- 質問①：伏見通りに工事車両が待機することはありませんか。
回答①：伏見通りに工事車両が待機することはありません。
- 質問②：公園内に入場した工事車両は、作業帯の中に駐車させるのですか。
回答②：工事車両は仮囲いで囲った作業帯の中に駐車します。
- 質問③：公園に仮囲いを設置した時に、園内の歩行者通路の幅はどのくらいになりますか。
回答③：3m程度です。
- 質問④：樹木移植準備工の仮囲いは、観測井戸設置工と同様に行いますか。
回答④：同様に行います。
- 質問⑤：迂回路の路面が土になる場合は、どのような安全対策を行いますか。
回答⑤：迂回路にすべり防止のためのゴムマットを敷くとともに、工事を行っている時は誘導員が来園者を誘導します

（騒音・振動について）

- 質問⑥：工事の騒音はどのくらいになりますか。
回答⑥：騒音対策として、地下水観測井戸設置工におけるボーリングマシン使用時は周囲に防音シートを設置し、騒音を低減します。
工事の騒音は環境基準値内に納めます。

質問⑦： 仮囲いの近くに子供がいる場合もあるかと思いますが、工事の騒音や振動は具体的にどの程度ですか。

回答⑦： 地下水観測井戸設置工におけるボーリングマシン使用時においては、防音シートを設置して騒音を低減します。具体的には、騒音は少し大きな話声程度で、振動はそれほど大きなものは出ないと考えています。

（その他、今回の準備工事全般）

質問⑧： 日々の工事内容はどこで知ることができますか。工事の予定を公園の出入口に貼ってほしいです。

回答⑧： 緑町口付近及び南口付近などに、一週間毎の工事内容を記載した週間工程表を掲示します。

質問⑨： 作業員は喫煙をしますか。

回答⑨： 屋外では喫煙しません。現場事務所の室内では喫煙所を設ける場合があります。

質問⑩： 将来事業箇所となる範囲（説明会資料 P8）のうち、移植準備工の対象となっていない木はどうなるのですか。

回答⑩： 事前に行った樹木診断において、移植に耐えることができないと判定された木については、今後の工事で撤去をします。また、正面入口側にある桜は撤去せずに残します。

質問⑪： 公園内の遊具で使用できなくなるものはありますか。

回答⑪： 2か所だけ使用できなくなる遊具がありますが、使用できなくなる期間は1週間程度です。

質問⑫： 今回の工事で、不発弾の探査は行いますか。

回答⑫： 実施予定です。

質問⑬： 地下水観測井戸の位置が自分の家に近接しているのですが、井戸の位置を多少離すことは可能ですか。

回答⑬： 後日、別途調整させていただきます。

（今後実施予定の工事等について）

質問⑭： 立坑などの工事をする際に、地盤沈下の調査は行いますか。

回答⑭： 地盤に影響が出る可能性がある工事をする際は、施工前、施工中、施工後に地盤変形調査を行います。

質問⑮： 立坑などの工事をする際には、家屋調査を行いますか。行う場合の範囲を教えてください。

回答⑮： 家屋に影響が出る可能性がある工事をする際は、工事の実施前と、実施後に家屋の調査を考えています。調査を行う範囲は未定です。なお、調査の際は、事前にお知らせします。

- 質問⑯： 地下水観測井戸は、いつまで設置しますか。
- 回答⑯： 工事の影響が、生じなくなったと判断した段階で、撤去します。
- 質問⑰： 地下水観測で変動があった場合は、工事を止めるのですか。
- 回答⑰： 地下水位は工事により変動しないものと考えていますが、大きな変動が生じた場合には、必要に応じて対応を検討いたします。
- 質問⑱： 今後の工事説明会のスケジュールを教えてください。
- 回答⑱： 今後の工事説明会は、工事の受注者が決まった際に実施します。
- 質問⑲： 工事説明会は、工事の直前ではなくもう少し早い時期に実施してください。
- 回答⑲： 今後の説明会はできるだけ早く開催できるように努め、市報や市ホームページ掲載など、広く周知します。
- 質問⑳： 今後発注する工事が契約不調になった場合は、事業全体が遅れるのですか。
- 回答⑳： 工事の契約不調が生じた場合は、事業スケジュールが遅れる可能性があります。
- 質問㉑： 移植する樹木は、工事が完成した後は元に戻すのですか。
- 回答㉑： 公園管理者と協議中です。
- 質問㉒： コンクリート構造物の耐久性は、何年程度ですか。
- 回答㉒： 施設は、100年間にわたり施設機能を維持することを目標に、コンクリートの状況などを定期的に診断、点検し、必要に応じて補修や改修を行っていきます。

(事業について)

- 質問㉓： 石神井川の護岸整備は進んでおり、武蔵関駅付近のボトルネック部の整備が終われば、調節池事業の完成前には氾濫リスクは解消されているものと考えます。
- 回答㉓： 治水対策としては、護岸整備だけではなく、上流部の護岸整備と調節池整備の両方を完了する必要があります。

(注) 河道整備は時間 50mm 降雨に対応

時間 50mm を超える降雨には調節池などで対応

- 質問㉔： 新たな地下調節池が必要な場合は、東伏見公園拡張部の地下に鉄筋コンクリート構造物を作るのが、低コストで安全かつ早期に完成し、維持管理も容易なのではないですか。
- 回答㉔： 仮に東伏見の事業地に地下調節池の整備を行ったとしても、東伏見公園拡張部から上流の南町調節池までは治水効果が及ばないので、目的の事業効果を得ることが出来ません。
- 質問㉕： 過去に大雨が降っても南町調節池などは満水になっていません。時間雨量 75mm 以上の降雨があっても、調節池容量には余裕があるという事実は、調節池容量の点では、目標の豪雨対策はすでに達成されているということではないでしょうか。
- 回答㉕： 過去の大雨は下流の練馬区で観測されたものなので、仮に上流部に同じ雨が降っ

た場合には氾濫する可能性があります。

質問⑳： 事業評価の説明会は行いますか。

回答㉑： 事業評価の説明会を行う予定はありません。なお、東京都が実施した事業評価の資料についてはインターネットで見ることができます。

質問㉒： 事業費はどのくらい増えたのですか。

回答㉓： 令和 5 年 1 月の設計説明会の際に、総事業費は約 600 億円とお伝えしました。その後、「令和 5 年度 東京都予算案の概要」（東京都財務局ホームページ）において、総事業費 989 億円と公表しています。

（注：なお、「令和 6 年度 東京都予算案の概要」において、石神井川上流地下調節池の総事業費は 1,073 億円と公表しています）

質問㉔： 今後も事業費は増えるのではないですか

回答㉕： 事業費の変動の要因として鋼材価格の上昇などが想定されますが、変動の予想をするのは困難です。

質問㉖： 本事業の事業評価の資料では便益額 1,154 億円となっていますが、南町調節池の貯水容量を超えた履歴がないことから、この額は明らかに過大だと考えます。

回答㉗： ご意見につきましては関係部署と共有してまいります。

質問㉘ 準備工事の着手は、事業評価の再確認後の方が、良いではないでしょうか？事業計画自体を抜本的に再検討いただけませんかでしょうか。

回答㉙： ご意見につきましては関係部署と共有してまいります。

質問㉚： 調節池の治水効果は、トンネル工事が完成しないと発揮できないのでしょうか。

回答㉛： トンネル工事と取水施設が完成し、洪水を取り込める状態になるまでは効果が発揮できません。

質問㉜： 施設が完成しないと治水効果を発揮できないのであれば、トンネルをもう少し小規模にして、早期に完成させた方がいいのではないのでしょうか。

回答㉝： 施設はできるだけ公共の空間の下を通るようにすることで、用地取得や関係者との調整の期間を短くする工夫をしています。また、計画目標の早期達成には、このルート、規模が最適となっています。

質問㉞： この調節池は石神井川の下流に位置する区部地域の水害対策を目的としたものではないですか。

回答㉟： この事業の治水効果は下流側の区部地域だけではなく、護岸整備などを加えることで、西東京市、武蔵野市を含めた流域全体に及びます。

以上